

国際ロータリー会長  
ウィルフリッド J.ウィルキンソン  
地区ガバナー  
渡辺 敏彦  
北クラブ会長  
山中 正  
幹事  
小林 繁男  
SAA  
安田 貞夫



# 三条北ロータリークラブ週報

例会日2008. 3. 18 累計 No.1031 当年 No.36

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30  
例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114  
事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内  
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488  
ホームページ: <http://www.sanjo-nrc.org>  
メールアドレス: [north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org)

本日の出席:  
67名中42名  
先々週の出席率:  
67名中48名71. 64%  
(前年同期82. 81%)

先週のメイクアップ:(敬称略)  
3月13日三条東RCへ 笹原壮玄  
岡田 健、高橋彰雄

本日のゲスト:  
スーパースター英語塾  
ティモシー マイケル フィニー様

本日の行事: 卓話  
「共和党対民主党」



## 会長挨拶

山中 正会長



先週の例会は今月の 22 日に社会奉仕委員会が事業として取組んでおります、大山のぶ代さんによる食育講演会『三つ子のたまして百まで～ドラえもんも応援する食育～』の開催要項についての報告会をさせて頂きました。土曜日の大山のぶ代講演会は全員参加事業とさせて頂いており例会扱いとなっております。チケットもご用意致しました 700 枚がすべて無くなりました。多くの市民の皆様から大変興味をお持ち頂いているようです。事前のご準備頂く方々は午後 3 時の集合です。駐車場のお手伝いをして頂く方は午後 5 時の集合となっております。そして、お車で出で頂くメンバーの方は駐車場が変更となりました。当初、北越 BK でしたが、青少年育成センターとなりました。メンバーの皆様のご協力を賜わり無事、大山のぶ代講演会を開催致したいと思っております。

さて、本日の例会は予てより予定されております小畠会員のご紹介によるティモシー・フィニーさんの卓話となっております。今、話題となっております『米国の大統領選挙に関する、米国の政治』等についてお話をさせて頂く事となっております。大変興味深いものがございます。後ほど卓話を宜しくお願い致します。

## 幹事報告

- ・ 渡辺 G B より 青少年職場体験受け入れ事業所調査のお願い
- ・ 地区ローターアクト委員長より 地区大会出席の御礼
- ・ 馬場 G B エレクトより 地区協議会開催のご案内

日時 2008年5月17日(土)  
会場 県央地域地場産業振興センター



## ニコニコボックス:18日現在累計957,000円

梨木 建夫君 昨日会議所のサービス業部会で東京の銀座（トレンドのブランド商店街）と対照的な巢鴨の商店街を視察旅行ということで行ってきました。又帝国ホテルでお昼のバイキングを頂きました。全く異なった町並みでしたが、どちらも「春」でした。

山中 正君 ティモシー・フィニーさん本日はありがとうございます。小島先生ありがとうございました。

小島 茂男君 フィニーさんお話し期待します

小林 満君 BOXに協力

今井 克義君 //

阿部 勝子君 //

## 米山ボックス

山本 賢君 新潟県央の大学紹介の英訳に関し浦佐国際大学の米山奨学生「グイマイスアニ（ベトナム）クロフォードジェルスコット（USA）」にお世話になりました。卒業間近の彼らにとって超多忙のところ、快く応じてくれた事に感謝。米山記念奨学会に係わっている特権でしょうか。法人特別寄付を公募します。ご連絡お待ちしております。

## 本日の行事

### 紹介 小島茂男会員

フィニーさんはティモシーが名前、クリスチャンネームがマイケルです。フィニーが日本で言う姓です。

彼は1964年ノースカロライナに生まれ、州立大学シャーロット校で英語学を学びました。地元の新聞社のレポーター、特に地元の政治についてのレポーターをやっていました。日本に来てから長いので、私の英語よりも彼の日本語の方が上手です。

今日のスピーチ、楽しみにしています。宜しくお願いします。



### 「共和党対民主党」

#### ティモシー マイケル フィニー様



こんにちは、宜しくお願いします。私の日本語は凄く下手ですが、頑張ります。2004年の大統領選挙でCNNによると19の政党が大統領

に立候補をたてた。

しかし多くの票を得た党は少なかった。エブラハム リンカーンの時代からアメリカ合衆国の大多数の人々は2大政党のうちの1つ、民主党か共和党に投票した。

私は過去に両方の党に投票したことがあります。でも現在の共和党は大統領とその政策を嫌いなので民主党に投票するつもりです。共和党の候補者のジャン マッケインは現在の

大統領の政策を全面的に支持すると言っています。ですからバラク オバマかヒラリー クリントンのどちらかに投票するつもりです。しかし、私が1990年に日本に来るまでは私は小さな新聞の記者として働きました。記者として公平であり、信頼できる人間であると、共和党の候補者から言われた事があります。ここで話しするにあたってできるだけ公平であるように努めたいと思います。

2大政党である、共和党と民主党の違いは何でしょうか。私の母は民主党員でしたが、かつて言いました。民主党は働く人の利益を求め、共和党は金持ちの人や大企業の利益を追求すると。従兄弟は共和党員ですが2つの政党にはあまり違いはないと言います。彼は両方が中道派だと言います。

従兄弟の言う事も当たっています。民主党と共和党が一緒の法案を支持する事もよくあります。しかし2つの党の理念は明確に違っています。

多くの共和党員は新保守主義を指示しています。これは次の事を信奉しています。いわゆる伝統的な道徳観、自由市場、安い税金、特に金持ちにとって安い税金、そして小さな政府です。

これらの道徳観の為に共和党は人々の個人的な決定に介入する法律をよく要求します。

例えば女性の性に関する権利を制限したり、反対する法律に継続的に投票したりします。同性の間の結婚にも反対し、国内の盗聴や拷問の容認には賛成しています。

彼らは自由市場原理を信奉しているので金持ちへの累進課税に反対しています。企業活動の規制に反対しています。特に環境問題の規制に反対しています。共和党は又政府が現在、怠っている多くの機能を企業が引き継ぐべきだと考えています。

民主党は現代の自由主義を信奉しています。自由主義は個人の自由と社会正義を標榜する哲学です。社会的な問題では民主党は政府に個人的な問題に介入するべきでないと考えて

います。人工妊娠、中絶や同性愛者の結婚に政府が介入するべきでないと考えています。しかし、社会正義を信じているので貧しい人を助けるための累進課税制度の創設に賛成し、環境保護の為に規制を法律にする事に賛成しています。

そのため日本人が大変心配している地球温暖化の問題は民主党政権の方が問題にする可能性があります。民主党は二酸化炭素の削減と燃料の効率を良くする事を次の世代の為に指示すべきだと考えています。共和党は地球温暖化が人間の行為によって引き起こされている事を否定しています。企業の行為に介入することは合衆国の経済にとって、不要であり有害であると考えています。

しかしながら、これまでのところ大統領選挙での2つのおもな論点はイラク戦争と経済です。2つの争点で明白な違いがあります。戦争に関しては共和党は以前は孤立主義者と見られていました。今日ブッシュ大統領、マッケインなど殆どの共和党員はイラク、アフガニスタンやイランへの介入政策は指示しています。マッケインが第二次大戦後日本でアメリカがしたようにイラクにも恒久的な軍事基地を建てる事を提案したのは有名です。

民主党は以前は介入主義と見られていました。しかし民主党の多くの人々がベトナム戦争後の政策に飽き飽きし、イラク戦争に反対するようになりました。オバマ、クリントン両氏も当選したら戦争を止める計画です。しかし両者ともアフガニスタンの軍隊の数は増やしたいと言っています。

マッケインはブッシュのイラクへの増派を強く指示して来ました。マッケインはアメリカは間違いを犯してきたが戦争は必要なものであり、正しかったと言っています。“あの国で行われている戦争はその地域全体の安定を危険にさらさずに止めることが出来ない。テロリズムに対抗する大きな闘いの一部なのだ”と彼は言っています。

オバマはマッケインの戦争への姿勢を直接非

難し、大統領選挙戦の討論のなかで2兆ドルの戦争の費用とイラクでの生命の損失は持ちこたえられないと話しました。その上戦争は嘘の報告を基盤としていて、イラクに派兵する前はテロリストは居なかったとも言いました。

クリントンは2002年にブッシュがイラク戦争を始めるのを助けた決議に賛成しました。クリントンは今、ブッシュが彼女を欺いたのであり、賛成したのは間違いだったと言っています。そして、撤退の明確な期限は述べていないが、出来るだけ早く戦争を終わらせる事に賛成だと言っています。

3人の大統領候補者は程度の差はあるが皆アメリカ合衆国の外交にもっと力を入れたいと言っています。現在のブッシュ政権では外交には力を入れていないと言う批評家もいます。オバマが共和党の現在の政策を“嫌いなリーダーには話しかけないブッシュとチャイニー政策”と言ったのは有名な話です。

オバマはシリアやイランの様な国の指導者と“国と国を別けているギャップに橋を架けるために”face to faceで会いたいと言いました。そこがオバマとクリントンとの大きな違いです。

クリントンとマッケインはこの件に関してはもっと慎重です。クリントンは“外交努力”を約束しましたが、“宣伝目的”の為だけには他国の指導者達とは会いたくないと言っています。

マッケインは同じ様な事を述べ、face to face meetingはやりすぎと言っています。

最後に多くのアメリカ人は経済の不安定さと

雇用が輸出されていることに不安を感じています。又、日本人には新しい大統領がどのように貿易問題に影響するかを不安に思っています。

マッケインはブッシュ大統領とは自由に、自由市場政策を支持しています。討論の中でマッケインは自由貿易を我が国の経済のエンジンと褒め称えました。彼はいかなる保護主義政策にも反対していて、ミシガンの労働者に海外での競争に負けた今日は返って来ないと言いました。

民主党は少なくとも或る程度の貿易制限を支持するようです。オバマは自分のウェブサイトで“公正な貿易”といいクリントンはサウスカロライナでのインタビューで“賢い貿易”と言いました。ここには自由貿易と保護主義の両方の意味が込められています。

例えばオバマは現在の貿易に関する合意のいくつかは修正したいと書いています。外国の政府が労働と環境の基準を改善するために。又彼はWTO世界貿易機構に不正な政府補助金を輸出業者に払っている国を止めさせるように圧力をかけると約束しました。

クリントンは新しい貿易合意を一時的に凍結する事を要求します。彼女は又外国政府が自国の製品にアメリカの市場を開いて欲しいならその国は自国の市場をアメリカに開かねばならないとも言っています。

2大政党の主な違いをおわかり頂けてアメリカの大統領選挙について少しでも良く理解頂けたら幸いです。

ご静聴ありがとうございました。

